

観光情報 ぶくさき

平成25年
1月号

福崎町観光協会 〒679-2280兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1(福崎町役場産業課内)
TEL 0790-22-0560(内線391) FAX 0790-22-5980
ホームページ <http://www.fukusaki-tabigaku.jp/kankou/>

福崎町観光協会

検索

1月の観光イベント

- 1月13日(日) ■ **かくしほちよじ**【場所：鍛冶屋地区】
 1月14日(月) 【一般的に『とんど焼』と称する小正月行事。成人の日の前日の夕刻から成人の日の早朝にかけて、古くから決められた方式に従って行われます。】
- 1月14日(月) ■ **鬼追式(追儼・ついな)**【場所：神積寺】
 [13:00~] 【鬼がたいまつを持ち悪魔払いをする修正会行事のひとつ。】

受験シーズンに突入！『学問成就の道』で合格祈願

福崎町辻川地区にある「鈴の森神社」と北野地区にある「北野天満神社」は、学問成就や合格祈願のスポットとして知られています。

合格祈願に、これら二つの神社を結び『学問成就の道』を通して参拝すると、ご利益も倍増するかもしれません。

季節は受験シーズン！ぜひ、訪れてみてください。



鈴の森神社

柳田國男や國男の兄弟の氏神である鈴の森神社では、合格祈願に絵馬を奉納するといわれています。

『播磨鑑』に神々が集まった場所と書かれており、声楽・安産の神様が祀られています。



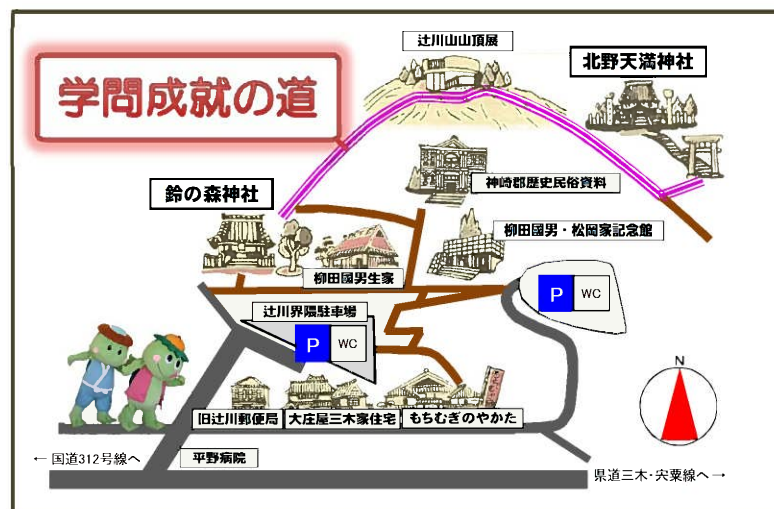
■場所 / 福崎町西田原 (柳田國男生家西隣)

北野天満神社

北野の天神さんとして親しまれている北野天満神社の拝殿には、撫でると頭が良くなると言われている牛の象(撫で牛)があります。



■場所 / 福崎町西田原 (北野公民館西)



鈴の森神社の絵馬



北野天満神社の撫で牛

1300年の時を越えて…『播磨国風土記編纂1300年』

播磨国風土記は、713年（和銅6年）に編纂の官令が出され、通説では715年には編纂が完了したと言われています。全国に5つしか現存しない風土記の一つで、2013年（平成25年）は編纂の官令が出されてから1300年になる年です。



そもそも「風土記」って何だろう…？



風土記は、郡・郷の命名や郡内の特産物、土地の肥沃度のほか、山川原野名の地名由来や古来の伝承が記されたもので、これら風土記を読み解くことにより、古代の神話や伝承、地域の地名由来について知ることができます。播磨国以外に、出雲国、肥前国、常陸国、豊後国の風土記が残っています。

福崎町に残る播磨国風土記ゆかりの地



古代の神崎郡には聖岡(はにおか)・川辺(かわのべ)・高岡・多駝(ただ)・蔭山・的部(いくはべ)の6つの里があったとされ、福崎町は、高岡里、多駝里と、川辺里の一部にあたります。

福崎町内における地名説話としては、建石敷命という神様がいたとする「神前山(かむさきやま)」や、檜で有名な「奈具佐山(なぐさやま)」、新羅の王子と伝わる天日杵命の軍勢が八千いたために名付けられたという「八千軍野(やちくさの)」などが紹介されています。神前山・七種山・八千種など、現在にもつながる身近な地名が登場するのも風土記の魅力です。

播磨国風土記編纂1300年を機に、風土記ゆかりのスポットを訪れて福崎町の歴史に目を向けてみませんか！？

『銀の馬車道プロジェクト』がユネスコ未来遺産に登録決定！

100年後の子どもたちに地域の歴史文化・自然遺産を伝えるために日本ユネスコ協会連盟が「未来遺産運動」の柱として展開している「プロジェクト未来遺産」に、銀の馬車道ネットワーク協議会が主体となって取り組んでいる『銀の馬車道プロジェクト～日本初の高速産業道路を未来につなぐ～』が登録されました。

銀の馬車道劇団による公演や子ども絵画コンクール、銀の馬車道商品の開発、リレーイベントなどの取り組みが評価され、兵庫県内では初の登録となりました。

これを記念して、銀の馬車道ネットワーク協議会による未来遺産登録記念イベントが開催される予定です。

(平成25年3月30日(土)姫路市内にて、フォーラム・銀の馬車道劇団による公演等を開催予定)



大庄屋三木家住宅が舞台の人情喜劇「銀の馬車道」

☆☆☆☆ ふくさき観光"豆"知識 ☆☆☆☆

「神前山(かむさきやま)」

播磨国風土記に、宍粟市にある伊和神社の神様の子、建石敷命(たていわしきのみこと)が、二之宮神社の裏山の山上ある大きな岩「磐座(いわくら)」に降り立ち、鎮座したと書かれています。神様がいた山ということで神前山と呼ばれ、「神崎郡」の由来にもなったと言われています。



神前山